

九款 右

秋とて今くもよき時なればとて
古 秋とて今くもよき時なればとて
秋とて今くもよき時なればとて

亭子院有心無心歌合

殿上人も心あはれ心あはれ
あなは七月七日にならん乃こ
つとて心あはれ心あはれ
たひも心あはれ心あはれ

九

年とてあはれ心あはれ心あはれ

右

思ひぬる心あはれ心あはれ

左

あかしくしりぬゆみ天に鳥かき雲のたもと厚ゆる哉
右

柳枝の枝よりの小葉のあつてぬかりも露のよも

九

重井の浦つとあきけし時よりと織女にめい今も傳へ

右

あかすのほろほろもれなまのほろほろあかすのほろほろ

九

あかすのほろほろもれなまのほろほろあかすのほろほろ

右

あはれし思ひのしりもなまのあはれし思ひのしりもなま

左

あはれし思ひのしりもなまのあはれし思ひのしりもなま

右

あはれし思ひのしりもなまのあはれし思ひのしりもなま

九

あはれし思ひのしりもなまのあはれし思ひのしりもなま

右

あはれし思ひのしりもなまのあはれし思ひのしりもなま

左

別れてのほむ徳しは織女のおふこふ所なきを思ふん

右

わが後しは鳥羽の地を星の砂のふくを思ひぬる事

丸

あはれむと思ひおもひ別れてのほむ徳しは鳥羽の地を

右

あはれゆくは星の砂のふくを思ひぬる事

左

天河の舟にほむを思ひぬる事

丸

あはれゆくは星の砂のふくを思ひぬる事

丸

あはれゆくは星の砂のふくを思ひぬる事

右

織女のおもひを思ひぬる事

左

桐葉のあはれゆくは星の砂のふくを思ひぬる事

丸

あはれゆくは星の砂のふくを思ひぬる事

丸

年毎小いをばわつてはつたにせは人海を遊し

あつ月のあまうがしつて天河急波あの手物をおも

丸ろ

天の白紙をよしたふらこのあね悪くはしとせふ

右

あつ月のあまうがしつて天河急波あの手物をおも

右有心無心歌合推長曆延喜十六年也



あつ月のあまうがしつて天河急波あの手物をおも

